

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	ドリームズ・21st 松原校
サービス種別	保育所等訪問支援

公表日 2025年 3月 28日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点	改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1 訪問支援に使用する場合の教材教具は適切であるか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・支援級については、担任の先生が作られた教材教具の利用方法について担当の子に合わせた方法を話し合ったり、工夫したりしている。 ・自主的に準備や片付けができるようめあてカードを作成している。 ・子どものニーズをよく把握しており豊富。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教材教具は使っていない。 ・クラスの子どもの見えていない場所の確保が必要。
	2 利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・マンツーマンで実施している。 	
業務改善	3 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・支援方法については、その都度担任の先生に考えをお聞きしながら進めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年度が進み支援員が交代する場合、引継ぎ機会が無いので戸惑いが大きい。今後、引継ぎを適切に行っていきたい。
適切な支援の提供	4 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	○			
	5 定期的に保護者や学校の意向の確認やモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
	6 個別支援計画を作成する際には、学校と連携し、学校や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・訪問時に担任と情報共有するよう心掛け個別支援計画に反映している。 ・担任と随時話し合って要望に応えられるようにしている。 ・担任の先生のご意見をもとに目標達成に向けて、放課後デイでの活動を工夫、実践している。 ・学校や担任と事前に打ち合わせをもった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・連携する時間は、学校や担任にはあまりないので、今後工夫する必要がある。
	7 個別支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援にかかわる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			

適切な支援の提供	8	個別支援計画が共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○	・常に確認している。	
	9	支援開始前には職員間でその日行われる支援の内容や役割分担について確認し、学校と連携して支援を行っているか。	○	・水泳指導や校外学習等については、事前に打ち合わせしている。 ・ホワイトボードに掲示される一日の予定表を見て、支援内容をイメージしている。	
	10	支援終了後には、職員間でその日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	○	・メールで共有している。 ・気づいた点については、学校への記録の中に書き入れている。 ・毎回は時間的に無理。特に気になった時は、放課時間に担任と話している。	
	11	学校と授業内容の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	○		・授業内容の理念を尊重するのは難しい。質問する場の設定が必要かと思う。
	12	毎回の支援に関して、記録を取り、支援の検証・改善に繋げているか。	○	・訪問支援の記録を放課後デイの活動内容に生かし、同じ目標に向かって頑張れるようにしている。	
関係機関や保護者との連携	13	学校等をはじめ、関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	・会社が幅広く整えている。 ・スクールカウンセラーと時々連携している。	・言語訓練等の様子ももう少しお聞きしたい。 ・進級、学校での交友関係等について担任と連携を深めてきたが勤務時間内に収めることは難しかった。
	14	ハグシステムなどを通じ、日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、支援の状況・課題について共通理解ができているか。	○	・保護者からのメール内容を確認し、次の支援に生かすようにしている。	
保護者等への説明等	15	学校に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○		
	16	個別支援計画を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ているか。	○		
	17	保護者からの子育ての悩みや子どもからの相談に適切に応じ、必要な助言と支援が行われているか。	○	・保護者からの要望に応じて、電話やメールで必要な助言・支援をしている。 ・支援級か支援学校か等進路についても、現在の担当の子に必要な環境、課題をもとに考えられるようにしている。	
	18	ハグシステム等で、活動概要や連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して必要に応じて発信しているか。	○		
	19	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		

学校への説明等	20	保育所等訪問支援の実施後に、学校とカンファレンスを行っているか。	○	・時間は少ないが、支援方法についての担任の先生のお考えをお聞きするようにしている。	・担任と随時話をしている。
	21	学校からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、助言を行っているか。	○	・みなで遊ぶための手作りおもちゃをもっていたり、学習内容をお互いに情報交換したりする。	・学校と信頼関係を持つよう「説明」は十分にしてきた。
非常時等の対応	22	緊急時対応・感染症対応・事故防止・虐待防止等について適切な対応をしているか。	○		
	23	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか。	○	・身体拘束の可能性のない児童を受け持っている。 ・担当の子に多動性、暴力等がみられないため、話し合いは少ない。その他の子の動きを止める時は、後から確認している。	・今後、子どもや保護者に了解を得た上で、個別支援計画に記載していきたい。